

ひたちなか市議会だより

みんなの笑顔で
新年のスタート!

もくじ

No. 100

平成30年1月25日

正副議長あいさつ 2

審議案件の紹介 2

一般質問 3

委員会・会派構成の変更 ... 8

特別委員会中間報告 9

市民のこえ 10

正副議長あいさつ

市民に親しまれる議会を目指して



議長
清水 立雄

明けましておめでとうございます。このたび議員各位のご推挙を賜り、議長に就任いたしました。これからの地方議会に求められていることの一つは、分かりやすい議会であり、積極的に情報公開をし、説明責任を果たし、議会活動への市民参加を進めていくことと考えております。より市民に親しまれる議会を目指し、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

議会改革のさらなる活性化



副議長
深谷 寿一

明けましておめでとうございます。このたび、議員の皆様からご推挙を賜り、副議長に就任いたしました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。これまでの議会改革の取り組みのさらなる活性化に向けて、市民の皆様との直接対話の推進と連携、議会情報発信拡大などの取り組みに努力してまいります。今後とも皆様方のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

ひたちなか市議会議員

- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 清水健司 | 鈴木道生 | 清水立雄 | 樋之口英嗣 |
| 所茂樹 | 宇田貴子 | 三瓶一武 | 打越浩 |
| 大内健一 | 山形由美子 | 深谷寿一 | 井坂章 |
| 弓削仁男 | 加藤恭子 | 武藤宏安 | 安井雄三 |
| 海野富二 | 雨澤一隆 | 大内良元 | |
| 北原尚之 | 鈴木谷隆 | 佐藤元 | |
| 岩本 | | | |

市議会議員は、公職選挙法の規定により年賀状を送ることが禁止されているため、本紙面上をもって年頭のごあいさつをさせていただきます。

12月定例会で 次の案件が提出されました。

会期：12月1日～12月15日

今回の審議件数は

- 議案：10件(原案可決7件同意3件)
- ※報告：1件(承認1件)
- 諮問：2件(同意2件)
- 請願：1件(8ページを参照)
- 陳情：3件(8ページを参照)
- 計：17件

号ではからこの中から3つを左に掲載します。

※報告は議会の承認が必要な案件のみ記載
○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第113号〉 平成29年度ひたちなか市一般会計補正予算(第3号)
『高校生による地域活性化プロジェクト推進事業補助金』
若い世代の人材育成と地域活性化のために、高校生による地方創生プロジェクト事業計画に補助金を措置します。

『準要保護新入学児童学用品費等援助費』
新入学児童に対する学用品等援助費を入学前に支給します。

〈議案第114号〉 平成29年度水戸・勝田都市計画ひたちなか市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
緊急治水対策事業を早期に実施するため雨水幹線事業費を増額します。



質問者



一 般 質 問

- ① 山形由美子 議員
- ② 井坂 章 議員
- ③ 宇田 貴子 議員
- ④ 大内 健寿 議員
- ⑤ 加藤 恭子 議員
- ⑥ 海野 富男 議員
- ⑦ 雨澤 正 議員
- ⑧ 鈴木 道生 議員
- ⑨ 大谷 隆 議員
- ⑩ 鈴木 一成 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。

市の事業などについて、
執行状況または将来の方針、
課題などを議員が直接質問しました。



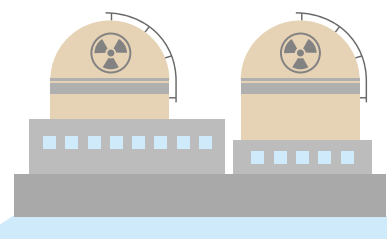
市ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容をご覧になれます。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>

市長 延長申請については、原電社長に「再稼働に直結するものではない」との確約を得ている。事前了解を担保する新協定実現にあと一步のところまで来ており、本市の意見を確実に反映させることができるよう努めていく。再稼働問題については極めて慎重に判断すべき問題であり、市民の安全が確保されない限り再稼働はできないものと認識している。

問 日本原電は、沸騰水型で老朽化した原発の20年延長申請を行った。国内最多の96万人が住み、県民の半数以上が再稼働に反対している。20年延長申請について、市長の見解を問う。

● 東海第二原発の再稼働は認めないこと



① 山形 由美子 議員

● 高齢者の買い物難民対策を求める

問 大型店の進出で「近所のお店が閉店し買い物ができなくなった」という声や、「安くて使いやすい交通手段が欲しい」という高齢者の要望が多くある。対策を求める。

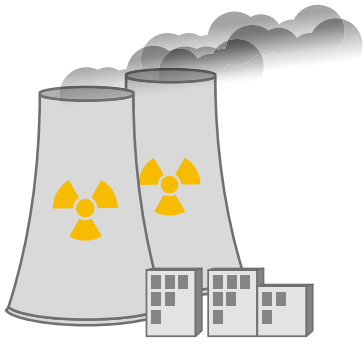
福祉部長 高齢者の交通手段や移動支援の確保は今後の本市における喫緊の課題のひとつであると認識している。高齢者が積極的に外出することは、介護予防、閉じこもり防止などさまざまな効果が期待される。これまでの買い物支援サービスに加え、協働のまちづくりの観点から地域住民やNPO、民間企業とも連携を図るとともに庁内関係部署とも協議し取り組んでいく。



●東海第二原発20年 運転延長について

問 原発は20年運転延長を申請したが、40年廃炉を避け再稼働に向けた申請ではないか。また、安全協定見直しで、事前協議の拡大については、同意権は担保されているのか伺う。

市長 運転期間延長認可申請については、原電社長に「再稼働に直結するものではない」との確約を得ている。協定見直しの回答は「実質的な事前了解」という表現であり、その内容は当初から求めてきた権限を確保できるものとの認識に至った。しかし、「事前了解」の権限についてさらに具体化し表現も明快になるよう文言の修正などを改めて求めたところである。



●市民の安心安全を守れる 原発再稼働などない

問 福島ではいまだに6万人を超す方が元の地域に戻れない。たとえ避難できても、地域産業、当たり前の日常を失ってしまう。東海第二原発再稼働に伴うリスクについて、市長に伺う。

市長 施設の安全性に絶対はないこと、人為的なミスが発生も否定できないことから万が一の事故は想定せざるを得ないのが現実である。この地域は、原発所在地としては他に例のない人口と産業の集積するエリアであり、重大な事故が発生した際の影響は計り知れないと考える。復旧・復興は困難を極め、ふるさと・地域の喪失にも繋がりがかねないという懸念もある。



●主要農産物種子法 【※1】廃止について

問 食を支えている米・麦・大豆など主要農産物を安定供給するために作られた「種子法」が、平成30年3月末日に廃止される。廃止による本市農業への影響について考えを伺う。

経済環境部長 県からは主要農産物の生産および品質向上に欠かせない優良な種子の安定供給は、農業経営において重要であることから、法の廃止はあるものの引き続き現行制度同様の役割を担えるよう努めるとの説明を受けている。今後、種子の生産・普及が安定して行われるよう国県の動向を注視していきたいと考える。

●マイナンバー制度の 現状と課題を伺う

問 今後、マイナンバーカードの普及が進むことによって、コンビニ交付における発行部数の増加が見込まれるところであり、今後のマイナンバーカードの普及に向けた取り組みについて伺う。

市民生活部長 本市のマイナンバーカードの普及率は10月末現在で8.3%とまだまだ低いものと考えている。市としてはマイナンバーカード普及促進につながるため、市報やポスターおよびリーフレット等によりコンビニ交付サービスの利用促進の広報と合わせて、更なるマイナンバーカードの取得推進およびコンビニ交付サービスの利用拡大に努める。



●医療的ケア児と 保護者支援のために

問 呼吸器具をのどにつけたり食事のチューブを胃に通すなど、医療的ケアが必要な子どもたちが成長する過程で必要な支援を受けるための行政の連携促進・情報発信について伺う。

福祉部長 保護者の意見に耳を傾けながら関係各課との情報共有を進めてきたが、さらに他分野との連携を進めるため、障害福祉事業所の職員がさまざまな障害に関する支援や連携方法について学ぶ合同研修会を開催している。また、医療的ケア児とその家族が孤立することがないよう市報やホームページによる情報提供に努め、相談支援事業所などの窓口を周知していく。



●農業行政GAP【※2】 認証取得について伺う

問 本市においても、今後、農作物の輸出やインバウンド観光への対応、さらには、国内産地間の競争を勝ち抜いていく上でも、国のガイドラインや県の規範に沿ったGAPの実践と認証取得を促進することが重要であると考えるがいかがか。

経済環境部長 近年の消費者の食品への安全志向の高まりから、安全・安心という目に見えない価値

の見える化としてGAP認証が目ざされている。しかし、本市を含め国内でもGAP認証の取得はまだ低い状況である。市としても、県など関係機関と連携を図りながら、情報提供や研修会の開催などを通じ、GAP認証の啓発・普及に努めていく。



●医療費の抑制対策 として残薬調整を



問 処方された薬を患者が大量に飲み残す残薬は、75歳以上の在宅高齢者だけで年間約500億円規模に上ると推定されている。本市の残薬調整の取り組みについて伺う。

福祉部長 本年7月に、残薬調整

に関する啓発リーフレットを市内全戸に配布し、広く周知を行っている。平成30年度から実施を検討している取り組みとしては、慢性疾患の長期服用者等を対象とした飲み残しの薬を薬局へ持ち込むための「残薬調整バッグ」を、薬局を通しての配布を検討しており、具体的な方法については今後、市薬剤師会並びに医師会と協議を進めていきたい。

●いじめの早期発見 へSNSの活用を

問 いじめの早期発見へ子どもの声が上げられる環境づくりとして、多くの若者が慣れ親しむLINEなどのSNSを活用した相談体制の構築が注目されている。本市の見解を伺う。

教育長 SNSを通じたいじめの

相談体制は、携帯電話やスマートフォンなどを所持していない子どもへの配慮や、相談体制構築に必要な相談員の確保などの課題があると捉えている。本市としては、国の動向や既に導入している他の自治体の成果や課題を踏まえながら、SNSの活用を含めた、よりよい相談体制構築の在り方について見極めていきたいと考える。



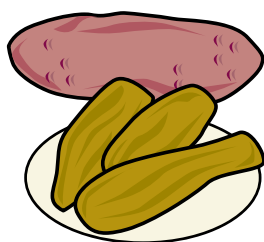
問 特産品「ほしいも」の生産販売の現状と課題およびこれから激化すると予想される「産地間競争」への本市の対応および取り組みについて伺う。

●教員の長時間労働 の縮減を問う

問 教育委員会および学校の「業務改善計画」の策定状況とその概況（方針・改善目標・計画・実践・評価・報告・公表）について伺う。

教育長 校長会での協議や教育委

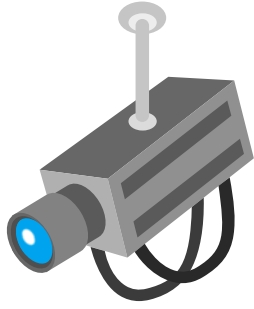
員会の学校訪問指導を通して、長時間勤務の縮減や業務改善への対応策を計画し推進している。現在、放課後の会議の精選および会議時間の短縮、定時退勤日の設定などに取り組んでいる。また、部活動の始業前練習を11月から平成30年4月30日まで、原則実施しない期間とし、部活動の取り組みを見直す機会としている。今後、生徒の学習や部活動への影響、顧問の勤務環境などを調査し、成果や課題について評価を行う予定である。



経済環境部長 近年、庭先販売やインターネットを利用した全国への販売など、直売・小売りでの販売が増えている。昨年度、他産地との差別化・ブランド化を推進するためブランド化検討委員会が組織された。本年度はJAS制度【※3】を活用し、伝統的なほしいもの生産方法の明文化・規格化を目指している。また、GAPやHACCP【※4】など外部認証を取り入れ、これまで以上に安全・安心な本市産ほしいもの更なるPRに取り組み、販売力強化につながるよう検討している。

●防犯対策について

問 学校の安全確保について、予防措置を講じる重要性を踏まえ、小中学校および通学路などの防犯設備（防犯カメラや通報システム）などの現状や今後の防犯対策について市の見解を問う。



教育次長 防犯カメラは、被害の広がりや犯罪を抑止する効果が期待できることから、学校の防犯上の個々の課題等をくみ取りながら、計画的に設置を進めていきたい。また、不審者等の情報は、各学校から保護者へ一斉メールにより注意呼びかけをしている。今後とも、学校、家庭、地域の連携を深めながら、よりたくさんの目で子どもを見守り、一層の安全確保に努めていきたい。

●「ふぁみりこらぼ」運営体制は

問 多世代交流の推進を掲げ10月に施設はオープンしたが、多世代交流推進には、関係団体等を巻き込んだ仕掛けづくりなど専門性や人員も必要と考える。運営体制についてどのように考えているか。



●在宅医療・介護連携推進事業について

問 患者として支える家族を中心として、医療機関と介護事業者などが連携して、一体的にサービスを提供していくことが大事である。本事業の本市の見解を問う。

福祉部長 市では、医療と介護の関係者の顔の見える関係の構築が重要と考え、「多職種協働のための意見交換会」等を実施してきた。今年度は関係者のニーズに沿った効果的な研修を行うための協議を進めている。また、連携推進には高齢者の医療や介護に関する情報共有が重要となるので、ICTの活用等を含め関係者間の円滑な情報共有に向けた検討を進めている。

●イスラム圏旅行者の対応について

問 近年外国人観光客が急増し、案内掲示板等多言語表記への改修が進むが、世界人口の約4分の1を占めるとされるイスラム圏の方々への飲食物提供をはじめ、施設の案内など受け入れ体制づくりも必要ではないか。



●観光客の周遊性向上へ自転車

問 全国的にもサイクルツーリズムが活況である。本市の課題である観光客の周遊性向上にも資する。レンタサイクルは更に推進し、利用者が使いやすいよう貸出返却場所を増設するなど考えは。

経済環境部長 平成29年度から31年度にかけて、那珂湊駅・阿字ヶ浦駅へのレンタサイクルおよびターミナルの整備やレンタサイクルマップの作製を計画していく。また、本市を代表する観光資源が点在する海浜部・那珂湊地区の回遊性を高めることに、まちづくり株式会社および大洗町におけるレンタサイクルとの広域的な連携についても検討していく。



完成した「ふぁみりこらぼ」



経済環境部長 イスラム圏から茨城県に周遊・宿泊したツアー数は少しずつ増えている。本市においても国営ひたち海浜公園のネモフィラやコキアが見頃な時期に、イスラム圏の方が目につき始めてきた。今後はハラル認証等を含めたイスラム圏旅行者に係る対応についても、観光協会や商工会議所、宿泊事業者など関係団体と連携を図りながら、先進地の事例を参考に調査研究していく。

◀次ページに続く

● コミュニティバスのデマンド・フリー乗降制度について

問 柔軟運行のデマンド移送や、それに近い状態を作れるフリー乗降は、制約が多く困難というが、デマンドのネック、乗り合い需要の効率的取りまとめ等は、発想や手法の転換で実現可能と思うが見解を伺う。

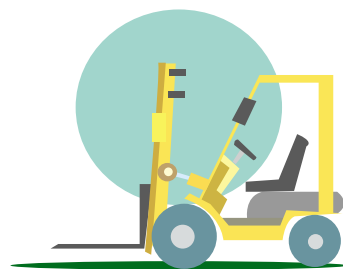


運行するスマイルあおぞらバス

企画部長 安全な運行は何より優先しなければならぬことから、停留所の数を増やして利用者の移動距離を短くすることや、停留所をより使いやすい場所に変更することなどにより、乗降場所に関する利用者のニーズにできる限りきめ細かく対応してまいりたいと考えている。

● 一般競争入札制度の課題を伺う

問 災害時に重要な役割を果たす建設業など、地元企業の育成のために市内本店企業が優先して受注できるように、今より更に受注機会を増やすべきではないかと考えるが、本市としての認識について見解を伺う。

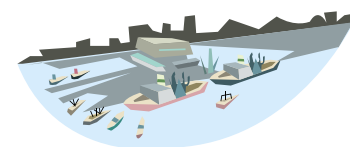


総務部長 地元業者の育成と地域建設業の振興については、より品質の高い、安全安心なインフラ整備や維持管理、これから起こり得る自然災害への防災・減災、復旧活動の担い手として必要不可欠なものと考えている。したがって、今後も個々の工事内容をよく精査し、特異性がなく、適正履行の確保が期待できるものについては、地元業者への受注機会の確保に努める。

● 那珂湊地区の水産業の復活を伺う

問 かつては西の大阪、東の那珂湊と並び称されたほど海運業と水産業で東日本随一の繁栄を誇った那珂湊地区が、その復活を期すことの第一歩は漁港の衛生管理と品質の向上であると思うが本市の見解を伺う。

経済環境部長 市では、県や沿海地区漁連、那珂湊漁協、仲買人などで組織する「魚市場委員会」において衛生管理対策について検討を進めてきたところであり、来年2月には漁協との連携により、「一般社団法人海洋水産システム協会」による品質・衛生管理講習会を開催する予定となっている。本市水産業の持続的な発展を見据えた衛生管理型市場への移行に向け、検討を進めていく。



用語解説

度によって、農林物資の生産および流通の円滑化、消費者の需要に即した農業生産等の振興並びに消費者の利益の保護に寄与することを目的としている。

P4【※1】 主要農産物種子法

昭和27年、戦後の食糧増産という国家的要請を背景に、国・都道府県が主導して、優良な種子の生産・普及を進める必要があるとの観点から制定された。

P5【※4】 HACCP

食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生するおそれのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるといふ重要管理点を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法のこと。

P5【※2】 GAP

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと

P5【※3】 JAS制度

「農林物資の規格化等に関する法律（JAS法）」に基づいて、農林物資の①品質の改善、②生産の合理化、③取引の単純公正化および④使用又は消費の合理化を図るため、農林水産大臣が制定した日本農林規格（JAS規格）による検査に合格した製品にJASマークをつけることを認める「JAS規格制度」と、一般消費者の選択に資するために内閣総理大臣が制定した品質表示基準に従った表示を全ての製造業者又は販売業者等に義務付ける「品質表示基準制度」の2つからなり、これら2つの制



人事

教育委員会委員の任命同意

石川 拓也 氏

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

小野 修 氏

人権擁護委員の候補者推薦同意

宇留野 騎一郎 氏、櫻井 理順 氏

請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

採択となったもの

▽教育予算の拡充を求めることについて

継続審査となったもの

▽「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関することについて

▽ひたちなか地区西部地区地区計画③街区内への給油所設置に関することについて

▽民間事業者等が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するための環境づくりについての支援に関することについて

意見書

「教育予算の拡充を求めることについて」意見書を内閣総理大臣ほか4機関へ提出しました。

議会運営委員会委員一覧

◎委員長○副委員長
(平成 29 年 12 月現在)

◎鈴木 一成	○鈴木 道生
大内 健寿	弓削 仁一
雨澤 正	武藤 猛

防災・減災対策調査特別委員会委員一覧

◎委員長○副委員長
(平成 29 年 12 月現在)

◎岩本 尚之	○弓削 仁一
海野 富男	北原 祐二
鈴木 道生	宇田 貴子
加藤 恭子	武藤 猛
佐藤 良元	打越 浩
井坂 章	安 雄三

一部事務組合議会議員一覧

(平成 29 年 12 月現在)

組合議会名	議員名
ひたちなか・東海広域事務組合議会議員	大内 健寿 岩本 尚之 大内 聖仁 打越 浩 雨澤 正 山形由美子

常任委員会委員一覧

◎委員長○副委員長
(平成 29 年 12 月現在)

常任委員会名	常任委員名
総務生活委員会	◎三瓶 武 岩本 尚之 打越 浩 ○雨澤 正 宇田 貴子 井坂 章 所 茂樹 薄井 宏安
文教福祉委員会	◎武藤 猛 北原 祐二 加藤 恭子 ○大内 健寿 鈴木 道生 鈴木 一成 清水 健司 山形由美子
経済建設委員会	◎大谷 隆 深谷 寿一 樋之口英嗣 ○弓削 仁一 大内 聖仁 安 雄三 海野 富男 佐藤 良元
予算委員会	◎打越 浩 海野 富男 加藤 恭子 薄井 宏安 ○大内 健寿 岩本 尚之 深谷 寿一 佐藤 良元 弓削 仁一 山形由美子 武藤 猛 安 雄三
決算委員会	◎井坂 章 所 茂樹 雨澤 正 三瓶 武 ○北原 祐二 鈴木 道生 鈴木 一成 大内 聖仁 清水 健司 宇田 貴子 大谷 隆 樋之口英嗣
議会広報委員会	◎加藤 恭子 岩本 尚之 ○清水 健司 宇田 貴子 海野 富男 大内 聖仁

会派構成一覽

会派の構成が次のとおり変更になりました。

◎代表者

(平成 29 年 12 月現在)

会 派 名	構 成 員
ふるさと 21	◎樋之口英嗣 清水 健司 所 茂樹 大内 健寿 弓削 仁一 清水 立雄
日新クラブ	◎武藤 猛 北原 祐二 岩本 尚之 三瓶 武 深谷 寿一
同心の会	◎薄井 宏安 鈴木 道生 大内 聖仁 安 雄三
会派ひたちなか	◎打越 浩 海野 富男 鈴木 一成 大谷 隆
公明党議員団	◎佐藤 良元 加藤 恭子 雨澤 正
諸派 (日本共産党)	◎山形由美子 宇田 貴子
諸派 (社民党)	◎井坂 章

監査委員

(平成 29 年 12 月現在)

委員名	議員名
ひたちなか市 監 査 委 員	佐藤 良元

広域連合議会議員

(平成 29 年 12 月現在)

議会名	議員名
茨城県後期高齢者医療 広域連合議会議員	深谷 寿一

特別委員会中間報告

防災・減災対策調査特別委員会

第 7 回委員会

平成 29 年 6 月 26 日

茨城港日立港区にて、津波、浸水対策として建設されているフラップゲート式防潮堤の現地視察を行い担当者からの説明を受けた。その後、市内における津波、浸水対策として防潮堤およびフラップゲート式防潮堤建設予定地の現地調査を行った。

第 10 回委員会

平成 29 年 9 月 29 日

ひたちなか市広域避難計画に係る基本方針 (案) について、議論をし、各委員の意見を集約した。さらに、12 月定例会に向けて、中間報告のまとめを行った。

第 11 回委員会

平成 29 年 10 月 31 日

初めに、執行部より茨城県が実施した那珂湊漁港海岸における津波・高潮対策住民説明会について報告を受け、質疑を行った。次に、ひたちなか市広域避難計画 (案) について、現在までの進捗状況と今後の見通しおよび課題等について説明を受け、質疑を行った。



第 7 回委員会 茨城港日立港区での現地調査の様子

産業の振興と観光の推進調査特別委員会

第 5 回委員会

平成 28 年 11 月 4 日

市内の文化財、史跡名勝の現地調査を行った。

第 11 回委員会

平成 29 年 8 月 9 日

湊線延伸基本計画について執行部から説明を受け、質疑を行った。その後、視察のまとめおよび中間報告に向けての進め方について協議した。

第 13 回委員会

平成 29 年 10 月 30 日

ひたちなか海浜鉄道湊線延伸に関することについて、延伸ルートおよび新駅予定地の現地調査を行うとともに、株式会社ひたちなか海浜鉄道代表取締役社長吉田千秋氏と意見交換を行った。また、賑わいの創出による観光の振興について、国立研究開発法人情報通信研究機構平磯太陽観測センターの現地調査を行った。



第 5 回委員会

十五郎穴ほか市内の文化財、史跡名勝の現地調査の様子

市民のこえ

hitachinaka

楽しいかなパティシエ

津田 後藤 菜々美さん

わたしのしょう来のゆめは、2つあります。1つ目は、パティシエです。理由は、おいしいケーキを作って、実さいにみんなのよるこぶ顔を見たいし、世界中の人においしいケーキを食べてほしいからです。

2つ目は、保育園の先生です。理由は、子どもたちの事を色いろ知りたいし、小さくてかわいい子どもたちに、いやされそうだからです。きつと大へんな事もあるけど、しょう来のゆめに向けてがんばりたいです。



今回は100号を記念して子どもたちのこえを聞いてみました。

夢

八幡町 泉川 和海さん



私の夢は、大洗高校に入学してマーチングをすることです。父と母が卒業生ということもあり、小さい頃から何度も見ることがありました。お客さんからたくさんの拍手をもらっている姿を見て、いつか私もあの中に入ってやってみたいと思っただけです。以前にグランプリをとったことのある大洗高校で父と母と同じ舞台に立って輝いてみたいのです。そして、グランプリをとれるように一生懸命がんばりたいと思います。

次回3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	1	2 本会議 (開会)	3
4	5 本会議 (午後1時開議)	6	7 (議案調査)	8 (議案調査)	9 (議案調査)	10
11	12 本会議 (代表質問)	13 本会議 (代表質問、一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 予算委員会	16 予算委員会	17
18	19 予算委員会	20 予算委員会	21	22 予算委員会 (予備日)	23 3常任委員会	24
25	26	27 本会議 (開会)	28	29	30	31

※請願・陳情締切り：2月22日 正午

議会を傍聴しませんか？

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください(273-0111内線4211)。なお、本会議の開始時間は、午前10時です(日程が変更になる場合もあります)。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



編集
手帳

議会だよりは本号で100号を迎えました。これまで長い時間をかけ、より親しんで手に取っていただける議会だより、議会の様子が伝わる議会だよりにするため、アンケート調査や視察を重ねてまいりましたが、この度の100号を機にそれらを組み上げて、リニューアルすることになり、作業を進めてまいりました。さらに皆様に身近に感じていただけるよう、今後とも努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。…………… (大谷 隆 記)